

VIETNAM WEEKLY REVIEW

お問い合わせ フリーダイヤル:0120-935-869
ホームページアドレス: <http://www.orient-sec.com>



WEEKLY MARKET REPORT

11/24(月)～11/28(金)

今週の相場

□ 300ポイント割れは免れる

11月に入り、海外投資家は債券、株式の売りに転じ、相場の下落を主導してきた。しかし、売りの規模は減少しつつあり、つれて相場の下落速度も減速気味。ベトナムVN指数は今週木曜日、05年10月以来の300ポイント割れ寸前に迫ったが、翌日には反発した。国内要因には、弱気材料が散見される。(1)新規上場・IPOの動きが活発化していること、(2)来年1月からキャピタルゲイン・配当課税が導入されること(先週号参照)、それに(3)追加利下げの動きに乏しいこと、などだ。しかし、決定的な理由には欠ける。海外では先進国だけでなく中国、ロシアなどの景気対策、市場介入で新興国の相場が底入れしており、今週のMSCI新興国株指数は木曜日までで9.8+%と4週間ぶりに反発。ベトナムはこうした動きのキャアの外にあるが、これは“ベトナムクラス”の小さな新興国市場、いわゆるフロンティア市場から国際的な資金が引揚げたためとみられる。その影響もそろそろ一巡か。

□ フロンティア市場に連動

“フロンティア市場”は、格付け会社のS&Pが定義している用語で、新興国市場のうち、流動性や外資規制で海外投資家が自由に投資しにくい世界の27カ国の市場を指す。そこから時価総額・流動性上位の150社を選びS&Pフロンティア150指数が算出されている。ベトナムVN指数との比較(相対株価)でみると、レマンが破たんした9月中旬以降、ほぼ横ばいとなっている。つまり、他のフロンティア市場と同様な下げをしている訳だ。比較的小規模な海外投資家がこれらの国で同時に売りを進めてきた構図が伺える。

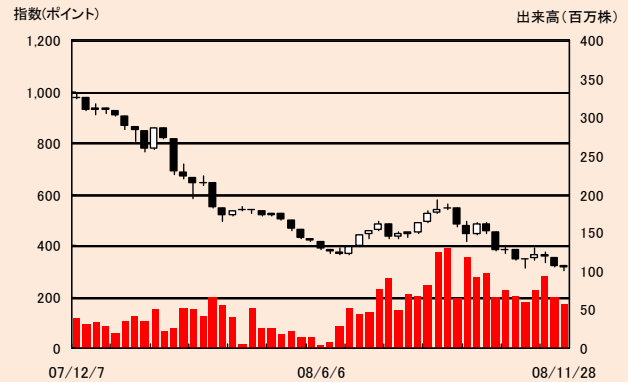
トピックス:フロンティア市場としてのベトナム株

S&Pフロンティア150指数に含まれるのは、ベトナムのほか、ブルガリア、カンボジア、パキスタン、ケニア、ナイジェリアなどの小国と、クウェートなど海外投資家の参入が規制されている国で、合計27市場で構成される。その時価総額は合計3500億ドル(08年央)で、日本株の10分の1。

採用されている銘柄は、各国の代表的企業で、ベトナムからは次の9社が採用されている(いずれもホーチミン市場上場)。

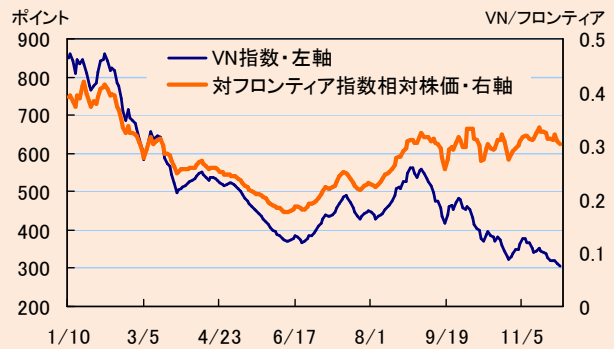
FPT(FPT)、総合フォーディング(GMD)、ペトロベトナム・ドリリング(PVD)、リー冷蔵電気(REE)、サコム通信ケーブル(SAM)、ソング工業団地(SJS)、サコムバンク(STB)、ビナムミルク(VNM)、ヴィンソン・ソンビン水力発電(VSH)

□ VN指数チャート



データ: Bloomberg

□ ベトナムVN指数の相対株価



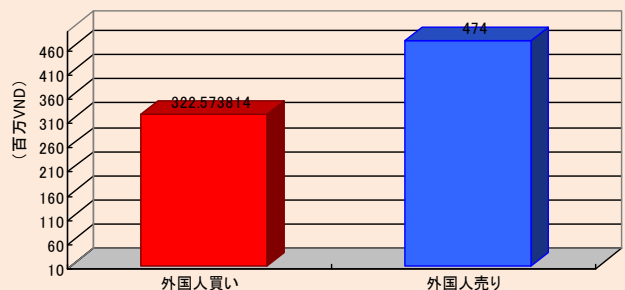
データ: Bloomberg

□ 指数データ

	直近	全週比 (%)	1ヶ月比 (%)	1年比 (%)
ホーチミン・VN指数	314.74 (ポイント)	-1.3	-2.5	-68.0
ハノイ・HASTC指数	104.20 (ポイント)	+0.3	-0.8	-69.3
ドン・円	5.62 (円/1,000ドン)	+1.3	+0.0	+17.5

データ: Bloomberg

□ 外国人投資家売買状況(11/24～11/28)



データ: HOSE

オリент証券株式会社【関東財務局長(金商)第54号】

加入協会 日本証券業協会 主な事業 金融商品取引業

外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式への投資には、基本取扱手数料(約定代金×2.10%(最低手数料 800,000ドン)) (税込)が必要です。外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。

VIETNAM WEEKLY REVIEW

お問い合わせ フリーダイヤル:0120-935-869
ホームページアドレス: http://www.orient-sec.com



WEEKLY MARKET REPORT

産業シリーズ:通信

□ 急拡大する携帯電話

ベトナムの人口は約8500万人だが、英国ビジネス・モニター社の08年7月時点のレポートによると、携帯電話の登録台数は昨年末に3581万台。今年は5663万台に急拡大の見込み。さらに2011年始めには9900万台、普及率は100%を超える見通しにある。ベトナムは中国のように、全国的な地上回線網が整備されておらず、固定回線ではなく、携帯電話が一気に普及する構図にある。国営業者の民有化の動きが普及に貢献しているほか、WTO(世界貿易機関)加盟を機に海外業者が参入を強めていることも市場拡大を後押ししている。ここに来て韓国SK、シンガポールテレコム、ドコモ、仏テレコムなどの外資系が市場参加や提携の動きを強めている。

国内業者は来年中の上場を目指している郵電公社傘下のモビフォン(MobiFone)、ビナフォン(VinaPhone)のほか、人民軍傘下のビットテル(Viettel)の3社で80%強のシェアを占める。

なお、固定電話は07年で114万回線。インターネットも登録者は188万人にとどまる。インターネットはADSLが依然、高コストで品質も悪く2010年でも286万人に緩やかに拡大することが予想されている。

来週以降の権利落ち・注目予告

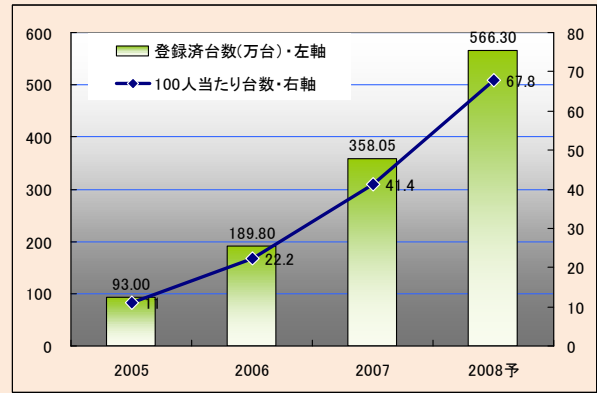
□ 権利落ちカレンダー

- 2008/12/01
KDC 配当:1800ドン NKD 配当:1800ドン
FBT 配当:500ドン NAV 配当:1200ドン
- 2008/12/02
VHC 配当:1200ドン TRC 配当:2500ドン
- 2008/12/03
PVD 配当:2500ドン VTB 配当:600ドン
BPC 配当:1500ドン SFI 配当:1000ドン
HSI 配当:1500ドン DHA 配当:1000ドン
VKP 配当:500ドン LSS 配当:1500ドン
- 2008/12/04
SBT 配当:500ドン LCG 配当:1000ドン
TRA 配当:600ドン OPC 配当:600ドン
SGC 配当:800ドン HAP 株式配当:100対15
- 2008/12/05
HPG 配当:1000ドン TMS 配当:600ドン
DNP 配当:1500ドン

□ 注目予告・発表

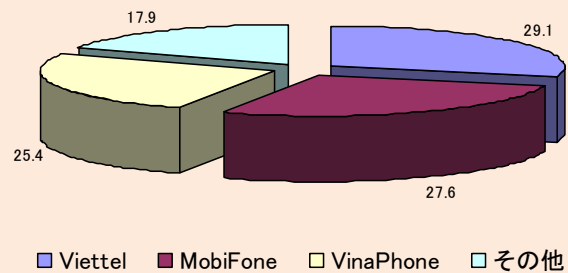
- 12/05 ホアセン・グループ(HSG)新規上場予定
- ANV:11/10~2009/1/12に60日間、太平洋工場を拡張するため、一時的生産休止。他の工場は平常通りに製造する。

□ ベトナムの携帯電話市場



Source:ビジネス・モニター社

□ 携帯電話の07年市場シェア (%)



Source:ビジネス・モニター社

□ 上場通信関連会社

□ FPT

ベトナム最大手のIT企業。IT開発、ITコンサルタントのほか、携帯電話の販売、インターネットプロバイダーなどを手かける。その他、証券と不動産・金融なども展開。インターネット市場では、シェア38%を占め(子会社FPTテレコム)、固定電話も最近、力を入れている。FPTの時価総額はホーチミン証券取引所において8位である。

□ VTC

デジタル交換機などを製造する通信機器メーカー。ケーブル受信スマートカードも手がけるほか、最近、ケーブルテレビ番組制作にも進出。

□ SAM

通信ケーブル大手で、政府が31%を保有する。

□ TYA

電線・ケーブル製造の民間会社。建物、自動車向けの電線およびケーブルを製造する。

オリент証券株式会社【関東財務局長(金商)第54号】

加入協会 日本証券業協会 主な事業 金融商品取引業

外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式への投資には、基本取扱手数料(約定代金×2.10%(最低手数料 800,000ドン)) (税込)が必要です。外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。

VIETNAM WEEKLY REVIEW

お問い合わせ フリーダイヤル:0120-935-869
ホームページアドレス: <http://www.orient-sec.com>



WEEKLY MARKET REPORT

個別銘柄情報

ベトナム乳業(ビナミルク-VNM)

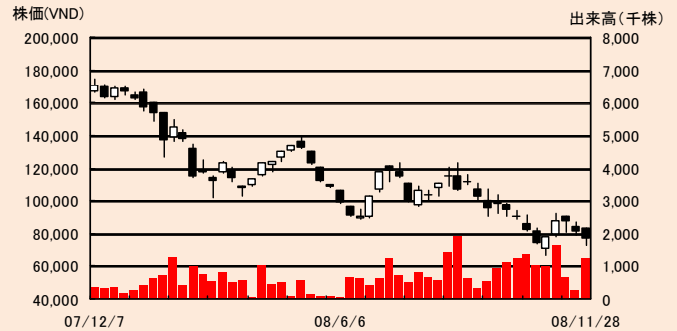
ベトナム乳業の最大手企業。全国の販売ネットワークを持ち、シェアNo.1。コンデンスミルク、フレッシュミルク、粉ミルク、ヨーグルト飲料、生クリーム、チーズ、プリンなどの乳製品を製造。ほかに、各種飲料、コーヒー、クッキーなども手がける。ベトナム人のコーヒー飲み方はコンデンスミルクを入れるのが特徴だが、そこではビナミルクのブランド力が強い。

中国のメラニン事件のあと、ビナミルクは自社製品をいち早く検査、メラニン成分なしと発表するなどの素早い対応が好感されている。国の安定的な生乳販売先と販売ネットワーク持つ。

08年1~9月期純利益3,350億ドン(+78.7%)。

株価: 76,500ドン/株、実績PER:10.76倍(11/28日終値)

□ビナミルク 株価チャート



データ: Bloomberg

タンタオ工業投資(ITA)

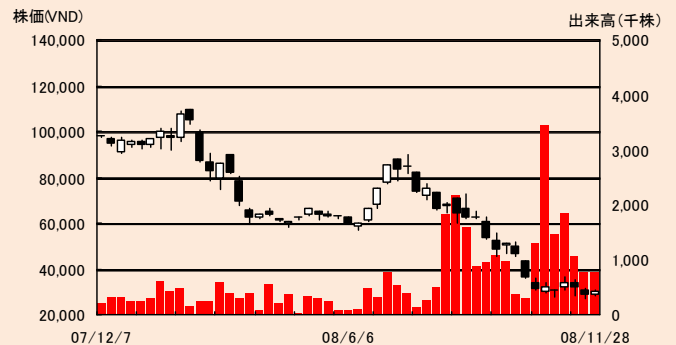
不動産開発会社。ホーチミン市のタンタオ工業団地で工業団地の開発、販売、賃貸、運営を手がける。賃貸料は他の工業団地に比べて高いが、大都市に近い地の利やインフラ整備が行き届いているため、入居率は高い。タンタオ工業団地で働く労働者の数は、今後5年以内に5万人に上ると予想されている。

今後実施予定のプロジェクトは、タンドウック居住地区プロジェクトやタンタオ工業団地の労働者用賃貸アパートプロジェクト、タンタオ100ヘクタール居住地区プロジェクトである。

08年1~9月期純利益2,398億ドン(-13%)。

株価: 30,300ドン/株、実績PER:10.17倍(11/28終値)

□タンタオ工業投資 株価チャート



データ: Bloomberg

ペトロベトナムドリリング(PVD)

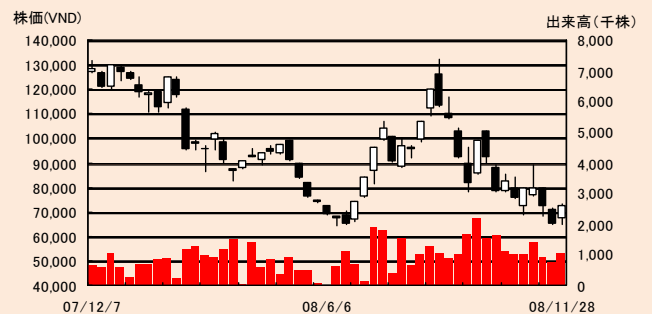
有力国営企業のペトロベトナムによって1994年に設立された油田技術会社で、2006年にHOSE上場。油田・ガス田の開発、掘削、運営を手がける。

国内(海上)油田のほか、ミャンマーやアルジェリアで掘削サービスを展開している。ペトロベトナムグループが51%を保有。ベトコンバンク(上場準備中)が4.4%を創業株主として保有している。

08年1~9月期純利益7,517億ドン(+87%)。

株価: 72,500ドン/株、実績PER:10.85倍(11/28終値)

□ペトロベトナムドリリング 株価チャート



データ: Bloomberg

オリエント証券株式会社【関東財務局長(金商)第54号】

加入協会 日本証券業協会 主な事業 金融商品取引業

外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式へのご投資には、基本取扱手数料(約定代金×2.10%(最低手数料 800,000ドン)) (税込)が必要です。外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。

VIETNAM WEEKLY REVIEW

お問い合わせ フリーダイヤル:0120-935-869
ホームページアドレス: <http://www.orient-sec.com>



WEEKLY MARKET REPORT

ハウザン製薬(DHG)

ベトナムを代表する大手医薬品メーカーでブランド力に定評。メコン川の支流ハウザン側にある大都市のカントー市を拠点とする。

1974年創業。2006年にHOSE上場。WHO(世界保健機構)の製造・開発・販売にともなう規格GSP/GLP/GSP基準を取得。鎮痛・解熱剤、抗生物質、血管改善剤などを200品目以上を製造。国内医薬品市場でのシェアは約10%とトップ。全土の98%の病院に医薬品を出荷している。現在、政府が51%の株式を保有している。

08年1~9月期純利益1,141億ドン(+29.5%)。

株価:117,000ドン/株、実績PER:15.38倍(11/28終値)

ハパコ(HAP)

ホン河デルタ地帯のハイフォン市を拠点とする製紙会社。1999年に市の傘下企業ハイフォン・ペーパーとして設立された。社名のHAPACOはその略称。2000年にHOSE上場。生産量は北部ベトナムで2位の規模。台湾向け紙製品に強く、ベトナムからの輸出の70%を占める。

工業団地への投資、石油プラントの建設(約1億5000万ドル)、ハイフォン証券やハイフォンファンドなどに出資と、積極的に多角化を進めている。

08年1~9月期純利益516億ドン(+13.3%)。

株価:18,900ドン/株、実績PER:4.38倍(11/28終値)。

ペトロベトナム化学肥料(DPM)

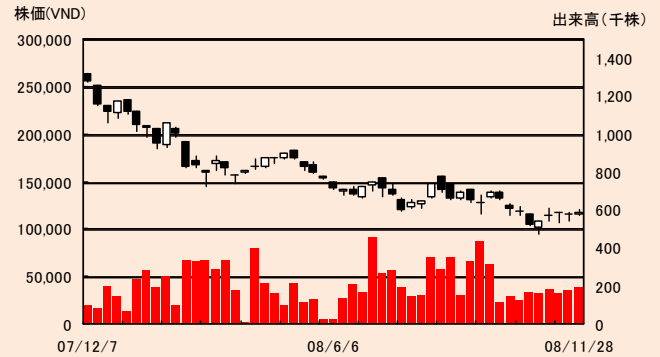
有力国営企業のベトナム国営石油ガス会社によって2003年に設立、2007年11月にHOSE上場。政府が株式の60%強を保有。

尿素系肥料が売上げの9割を占め、ほかに液体アンモニア、工業ガスも手がける。国内の尿素系肥料市場は年間180万トン。そのうち同社は年産74万トン(シェア40%強)とトップ。ベトナム南部(メコン・デルタ)を中心に販売しているが、全国規模での流通網整備に乗り出している。

08年1~9月期純利益1兆4,658億ドン(n/a)。

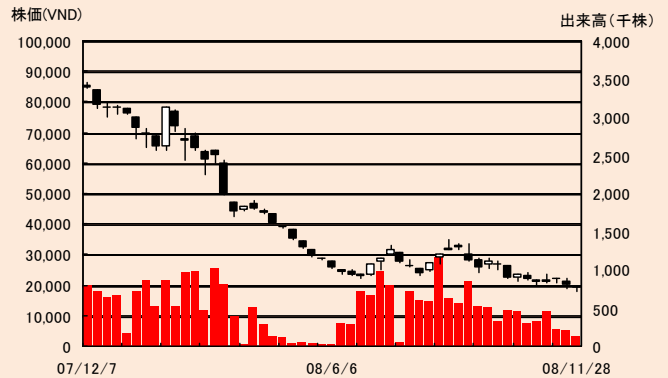
株価:37,200ドン/株、実績PER:10.63倍(11/28終値)

□ハウザン製薬 株価チャート



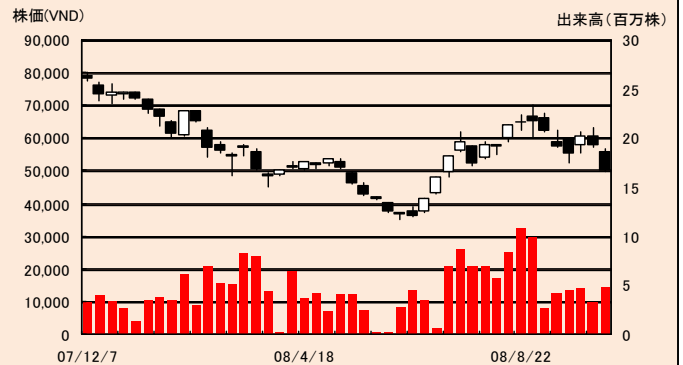
データ: Bloomberg

□ハパコ 株価チャート



データ: Bloomberg

□ペトロベトナム化学肥料 株価チャート



データ: Bloomberg

オリент証券株式会社【関東財務局長(金商)第54号】

加入協会 日本証券業協会 主な事業 金融商品取引業

外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式へのご投資には、基本取扱手数料(約定代金×2.10%(最低手数料 800,000ドン)) (税込)が必要です。外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。